



高円宮殿下日本 カナダ記念基金

<http://www.uofaweb.ualberta.ca/takamado/>

第1号 2008年10月

ニュースレター

INSIDE:

- I. 高円宮殿下日本カナダ記念基金管理委員会近況報告
- II. 会計報告
- III. PTJCMF学生モビリティ奨学金プログラム
- IV. カナダ日本研究ネットワーク(CANJAS) 報告

高円宮殿下日本カナダ記念基金(PTJCMF)は、長年アルバータ大学及びカナダの大学教育に多大な貢献をされた故高円宮殿下を記念して設立されました。カナダのクイーンズ大学での3年間のご留学後、国際交流基金にご勤務され、世界各国での日本語及び日本文化の振興にご寄与されました。この記念基金は学生のモビリティ(移動・往来)を奨励・支援し、日本分野の新しい教育方法、研究や文化交流プログラムを助長することにより、日加関係を強化することを目標としております。

I. 高円宮殿下日本 カナダ記念基金管理委員 会近況報告

2008年5月よりPTJCMFの詳細及びセンターの活動を高円宮日本センター所長、下野香織博士が運営指揮を執っております。2008年5月28日・29日に下野香織博士が高円宮妃殿下及び東京を拠点とする高円宮基金アドバイザー・募金委員会と会談し、学生モビリティ賞及び奨学金に関する助成金の運用方法についての更新案を提示しました。

2008年9月には、アルバータ大学文学部学部長であるダニエル・ウルフ博士がPTJCMF管理委員長に任命されました。同委員会は高円宮日本センターが提出した学生モビリティ計画について審議し、同案を承認をいたしました。

ウルフ博士は文学部学部長補佐(涉外係)、キャサリン・サボと渉外チームの協力の下にPTJCMFが目標募金額に到達するまで責任を持って指導することを約束しました。



アルバータ大学文学部学部長ダニエル・ウルフ博士

II. 会計報告

現時点で(2008年10月3日)、寄付金の市場価値は\$955,371.66ですが、更に最近日本から送付された寄付金、\$129,860.13に加え、アルバータ州政府からマッチングファンドとして受けた\$200,000が追加される予定です。上記の寄付金を基に、2009-2010年度にはおよそ\$55,000の運営資金が計上される予定です。2008-2009年度の運営資金は\$38,118.99です。

III. PTJCMF学生モビリティ奨学金プログラム

PTJCMF賞受賞者(2007-2008年度)

全カナダ日本語弁論大会(2008年3月29日
アルバータ大学にて開催)

オンタリオ州トロント市ヨーク大学在学の
ヒュンジ・キムさんが「現代の音楽につ
いて」と題したスピーチで優秀な成績を
収め、高円宮日本カナダ記念基金大賞を
受賞しました。大賞として、キムさん
には\$2000相当の行き先を自由に選べる
旅行券及び\$1000の旅行滞在費が贈ら
れました。キムさんは2008年12月頃
授与とされた旅行券を使い、日本を訪
れる予定です。キムさん、おめでとう
ございます。



新規モビリティ賞及び奨学金(2009-2010年開始)

全カナダ日本語弁論大会最優秀賞に加え、日本カナダ間の
学生モビリティを奨励・支援する下記の賞及び奨学金プロ
グラムの促進案が新たに承認されました。

- 高円宮妃殿下小論文コンクール
- 日本留学支援奨学金制度
 - 日本夏季滞在支援
- カナダ留学支援奨学金制度
 - アルバータ大学夏季プログラム奨学金
- インターンシップ・研究支援奨学金
 - アルバータ州政府日本事務局におけるインターシ
ップ奨学金
 - アルバータ大学・日本間の交換留学支援とインター
ンシップ

JACOS-JAPEX 工学技術奨学金

2008年6月、JACOS-JAPEX工学技術奨学金がアルバータ大
学にて承認され、鉱山工学・石油工学・化学工学・マテリ
アル工学・地質工学・環境工学を就学している2・3・4回生
の中から最も優秀な成績を収めた学部生4名に奨学金が授与
されます。

IV. カナダ日本研究ネットワーク (CANJAS) 報告

CANJASは2005年に設立されましたが、2006年
から2008年も引き続きアルバータ大学が中心と
なり積極的に活動しています。CANJASはアル
バータ大学と日本学プログラムを有するカナダ
の6大学、プリティッシュ・コロムビア大学、
ビクトリア大学、トロント大学、カルガリー大
学、モントリオール大学、それと2007年秋に新
たに加わったセント・メアリー大学を結んでい
ます。下記のCANJASイベント及び講演は、全
てのCANJAS機関にビデオコンフェレンスを通
して放送されました。

- 2008年4月2日
ソニア・アンツェン博士:「日本の叙情詩
と英語詩に実践されるまでの長い道のり」
(*The Japanese Lyric and Its Long Journey into
English Poetry and Practice*)
- 2008年3月6日
ルシア・ナギブ博士:「混色のシネマ:
日本シネマの異分野からのアプローチ」
(*Impure cinema: an interdisciplinary approach to
Japanese cinema*)
- 2007年11月22日
メルドラム由香里:「新しい分野としての
日本語翻訳学」(*Japanese Translation Studies:
A New Discipline*)
- 2007年2月28日
日本舞踊ワークショップ:「日本舞踊の伝
統・衣装・化粧について」(*Japanee Odori
Dance: Performance Tradition, Costume, and
Makeup*)
- 2007年2月15日
ティム・アイルズ博士:「不適切な充
用:『ある芸者のメモワール』の中での
強制された異国趣味、不当な東洋趣味」
(*Inappropriate Appropriation: Forced Exoticism,
Unwarranted Orientalism in "Memoirs of a
Geisha"*)
- 2007年2月13日
モーリーン・コックス-ビショップ博士:
「絹染め:見直された日本の伝統」
(*Ro-zome: Japanese Textile Traditions Revisited*)
- 2006年3月27日
平田オリザ:「対話の時代の日本語教育」

CANJASは2008-2009年度最初の講演として、
ソニア・アンツェン博士による、「感受性の
共感:日本での漢文の受容と実践」(*Shared
Sensibility: Reception and Practice of Chinese poetry in
Japan*)を2008年10月10日にアルバータ大学より
ビデオコンフェレンスとして放送するなど、す
でに活動的な年を迎えています。

